

# 酪農とちぎ



## 新支所稼動

施設合理化のひとつ、県北地域の拠点として完成が待たれていた、「那須高原支所」が四月より稼動致しました。新支所は、県北地域の中心として旧支所から南部に4km移動し、黒磯バイパス沿いに建設されました。また、六月より同敷地内に建設中の「那須高原CS」がいよいよ稼動致します。効率的な集配送乳業務を可能とする構造と、今、消費者が強く求めている「安心・安全な牛乳」供給に呼応する為、最新の設備を導入しております。

皆様には春の農繁期となりましたが、農作業事故には充分ご注意願います。



# 那須高原支所が移転新設 県北地域の拠点として

かねてより建設を進めて来た「新那須高原支所」が完成し、四月十一日開所式を行うとともに、那須塩原市下厚崎に移転いたしました。



一足早く完成となりました。施設は、那須塩原市下厚崎地区の組合所有地（国道四

号線黒磯バイパス下厚崎陸橋側）にCSと並んで鉄骨二階建て五五六m、一階は事務所、二階には百三十名が収容できる多目的会議室を備えております。

新支所の移転新設につきまして、合併時から施設合理化事業のひとつとして、クーラーシステム（CS）と合わせて地域合理化検討会、建設委員会、理事会等で慎重審議を重ね、昨年よりCS建設と同時を進めて参りましたが、竣工式は地域酪農組合の正副組合長及び青年部・女性会役員のほか、施工業者・役員八十名が参席し、地元の黒磯神社宮司のもと神事・テープカット・除幕式のセレモニーを行いました。祝賀会では、前田組合長が「合併時から計画を進めてきた、県北地域における施設合理化事業のひとつとして、皆様のご支援・ご協力により完成できた。今後とも、県北地域の拠点として機能を高めたい」と述べました。また、来賓の山口幸志県畜産課長より「広域合併のメリットを十分活かす施設

として完成できたことは誠に意義深く喜ばしい。今後更に組合員と組合発展に寄与されることを期待したい」と祝辞を頂きました。

「新那須高原CS」建設は、二

## 那須塩原市議選に 本組合員二名が当選

今年一月に黒磯・西那須野・塩原の三市町合併に伴い、在任特例の任期満了に伴う初の市議選は、三十二名の定数に対し四十二名が立候補し高競争率となりました。この市議選に組合員三名が立候補し、即日開票の結果、人見菊一さん（戸田）、松原勇さん（組合理事 北赤田）、高久武男さん（上中野）ら全員が当選を果たしました。

皆さんと共にお祝いを申し上げます、さらなる市政におけるご活躍をお祈り申し上げます。



高久武男氏



松原 勇氏



人見菊一氏



# 平成十六年度事業報告

## 猛暑も生乳生産は前年増・消費は伸びず

組合の第四年度事業が終了し、各部門とも決算事務の中、新年度事業が始まりました。各事業の実績につきましては、地域説明会にて詳細な報告を致しますが、概要をお知らせいたします。

### 生乳販売

組合の生産乳量は二二二、一八六トン（前年比一〇〇・七％）計画比一〇〇％、前年のうるう年換算すると前年より一〇一％増加になりました。全国的に生産が低迷するなか、前年を上回ったことは、規模拡大進捗と増産意欲の現れと推察します。

また、高品質生乳生産の高揚と個々の安定経営向上を図るため、奨励制度の一部見直しと乳質共励会を継続しました。乳質奨励金単価を一円から二円に増額見直した結果、需要期奨励・乳質奨励金及び生乳生産対策費等総額三七七、六七〇千円（前年より二六、五〇

〇千円増）の支払いを行ないました。

### 市乳販売

新規開拓・量販店の巡回訪問を進めながら拡販に努めましたが、牛乳消費の低迷、低価格販売競争の影響が続き、実績一六、九二九千本（計画比八〇・六％）の厳しい結果となりました。今後は、生産現場から製品出荷に至る迄の徹底した品質管理をさらにPRし、尚一層の拡販に努め、東京明販株式会社・宇都宮支店の物流ルートと協調しながら、県内物流の合理化・新規取引先の拡大に努めて参ります。

### 購買

指導購買の強化、要望に応じた生産資材の供給に努めた結果、濃厚飼料一〇一、五八八トン（計画比九七・一％）、粗飼料五六、〇六二トン（計画比一〇〇・九％）の実績となりました。配合・混合飼

料及び粗飼料奨励制度を継続し、総額一七五、六七六千円（前年より二四、五〇〇千円増）を支払う事が出来ました。また、配合飼料の価格低減を図るべく、直送の推進を積極的に推進しました。

### 指導

昨年十一月からの家畜排泄物法施行に対応するため、畜産リース事業・バイオマス事業を積極的に推進し畜産環境整備を行うと共に、公社事業や補助事業の活用による良質な自給飼料の確保及び生産基盤強化については、個別巡回指導を通じ、経営の安定向上に努めました。組織活動は、支所事業活動推進協議会による親睦交流会・研修会・花の苗配布等の環境整備、地域酪農組合・青年部・女性会、外国人研修生受入れ協議会等の活動を支援して参りました。後継者対策事業は、海外派遣酪農研修制度により四名が酪農先進国で研修を行いました。第三回酪農まつり・ホルスタイン共進会を開催し、来る十一月開催の全共栃木大会に向け意識の高揚と組合員の親睦、消費者との交流を深めることが出

来ました。

ヘルパー部門は、専従並びに臨時ヘルパーの養成確保に努め、利用組合及びヘルパー員との相互理解と事業の円滑な推進を図って参りました。診療部門は、指導型診療業務に向け、公的機関での研鑽に努めました。

牧場事業は、県酪連より受託の土上平牧場・小林放牧場を活用し、健全な後継牛づくりや早期繁殖検診を取入れた結果、受胎率の向上など前年を上回る成績を得ることが出来ました。また、草地部門は、適期作業に努めた結果、生草換算で五六二七増の自給粗飼料を収穫しました。また、受精卵移植事業は、四十八頭に移植し二十六頭に受胎させることが出来ました。

### 財務

今期加入者は、親子加入を含め十三名、脱退者が二十八名ありました。資本造成につきましては、各位のご理解・ご協力により、一億三千四百万円増資ができ、自己資本は増資・積立金等により一億一千七百万円増加できました。





# 第四回酪農まつり盛会に開催 (第四回ホルスタイン共進会)

年度始めの組合恒例行事「酪農まつり」を四月二日(土)、那須塩原市「皇酪農試験場」において開催することができました。

当日は、過ごしやすい気温の中、福田県知事始め多くの来賓を招聘し、組合員と家族並びに一般観覧者二千三百名が集い、組合員同士の親睦と消費者との交流を深めることが出来ました。

酪農まつりの催しとして、ホルスタイン共進会も併催し、ふれあい広場では青年部協力による子牛の体重当て・ミニ動物園・ストラックアウト等を行いました。搾乳体験は牛の体調が優れず、残念ながら中止となりましたが、ミニ動物園は例年通り大変な人気でした。また、関係業者・機関のご協力を頂き開設した乳製品・牛肉料理等の特設売店、女性会のご協力による「牛乳とん汁」・地域酪農組合による「おでん」が、昼食に振る舞われ大変好評でした。その他、牛乳普及協会による手作りバター体験・牛乳早飲み競争を行い、生産者と消費者との交流にご協力頂きました。とちぎファームフェスタ2005のマスケットキャラクター「とちミルちゃん」も登場し、子供達に人気を博していました。

大抽選会はスピードくじで行われ、幸運にも「旅行券」や「テレビ」などが当たった方々は大変嬉しそうでした。

共進会は未経産牛四十八頭、経産牛五十八頭の精鋭牛計百六頭が集まり、八部門においてハイレベルな改良成果を競いました。審査員は、北海道中標津町の酪農家、久保剛氏を迎え、公正なジャッジングと講評を頂きました。デイリープリンセスは深山ユリ香さん(那須町)、小野田千晴さん(矢板市)、水沼美子さん(真岡市)の三名で、入賞牛のリボン装着をして頂きました。

審査の結果、名誉賞は未経産の部で大瀧信夫さん(市貝町)、経産の部で渡邊透さん(那須塩原市)、山本訓さん(矢板市)が輝きました。今回、第九部「地域酪農牛群」を新設しました。各地域酪農組合より三頭一組の群を選考し、審査した結果、優等賞一席は那須地域酪農組合でした。アトラクションとして開催されたジュニアショウでは、一所懸命牛を引く子供達に温かい声援が送られました。最優秀賞に清水憲吾君(那須町)、優秀賞に相馬蒼君(那須塩原市)、優良賞に物井拓実君(さくら市)が選賞されました。



久保 剛 審査員



福田知事挨拶



名誉賞を受賞した皆さんと



ジュニアショウ



デイリープリンセス  
小野田千晴さん 水沼 美子さん 深山ユリ香さん  
(矢板市) (真岡市) (那須町)





未経産の部 名誉賞

3部 市貝町 大瀧 信夫 氏



コージー ロング ロイアーロン

経産の部 名誉賞

6部 那須塩原市 渡邊 透 氏



ニューウインド クレイタス マーカー

8部 矢板市 山本 訓 氏



マウンティンビュー リーダー ロクシー ET



1部 一席 和田 泰 氏



2部 一席 高塩 久 氏



4部 一席 岸 勇一郎 氏



5部 一席 川田 佳男 氏



7部 一席 大島 秀樹 氏



部別	賞	出品番号	入賞牛名号	出品者	住所
未経産	名誉賞	312	コージー ロング ロイアーロン	大瀧 信夫	市貝町
経産		610	ニューウインド クレイタス マーカー	渡邊 透	那須塩原市
経産		810	マウンティンビュー リーダー ロクシー ET	山本 訓	矢板市
第1部	優等賞一席	121	リージェント ドラマチック チャンピオン	和田 泰	那須塩原市
	優等賞二席	108	タクヨウ マーシャル ビーバー	那須拓陽高校	那須塩原市
	優等賞三席	111	イトリフィック マーチ	伊藤 高行	那須町
第2部	優等賞一席	222	ハーネスファーム モーリー ルーベンス	高塩 久	那須塩原市
	優等賞二席	211	パインツリー クリスマス イブ	中山 真介	南那須町
	優等賞三席	219	KZMR ロング エルトン チャンピオン	梶村 健介	市貝町
第3部	優等賞一席	312	コージー ロング ロイアーロン	大瀧 信夫	市貝町
	優等賞二席	307	ウェルトップ インマーク マリン	井上 栄一	矢板市
	優等賞三席	309	タクヨウ ワーデン ブレング ジェスロ	那須拓陽高校	那須塩原市
第4部	優等賞一席	403	アミダ ラプリンス カウテス	岸 勇一郎	那須町
	優等賞二席	401	ジョセフィンファーム ビクトリアス ルドルフ	坂主 豊	湯津上村
	優等賞三席	409	グリーンスター コランサー モンデシー (B.U.)	白井 重忠	那須塩原市
第5部	優等賞一席	507	リバーファーム エスティメイト ダーハム クッキー (B.U.)	川田 佳男	宇都宮市
	優等賞二席	510	ピックパリア チャールズ エンコア セカンド ET	大関 一男	那須塩原市
	優等賞三席	506	リワード マジェスタ チーフ	皆川 健介	那須塩原市
第6部	優等賞一席	610	ニューウインド クレイタス マーカー	渡邊 透	那須塩原市
	優等賞二席	601	コージー エスディー ダーハム コンテスト(B.U.)	大瀧 信夫	市貝町
	優等賞三席	619	リバーサイド ダイヤモンド エルマー	佐藤 和幸	那須塩原市
第7部	優等賞一席	708	エクспанディング ハーゲン ジョーダン(B.U.)	大島 秀樹	芳賀町
	優等賞二席	707	グリーンエパー ウェード リーナ ET	人見 泰弘	那須塩原市
	優等賞三席	711	コマバファーム グランド シャーク スコーピオ	駒場 久	宇都宮市
第8部	ベストプロダクション	711	コマバファーム グランド シャーク スコーピオ	駒場 久	宇都宮市
	優等賞一席	810	マウンティンビュー リーダー ロクシー ET(B.U.)	山本 訓	矢板市
	優等賞二席	805	ナガヤン エアスイーツ エルスト	室井 忠則	那須塩原市
	優等賞三席	802	トチギ カーネーション プレット	高井 信二	那須町
第9部	ベストプロダクション	801	グリーンルーフ ジェスロ ケル	松山 秀夫	二宮町
	優等賞一席			那須地域	
	優等賞二席			芳賀地域	
	優等賞三席			宇河今市地域	

入賞牛名号内(B.U.)はベストアダーです。



# 部課だより

## 生乳販売課

前年を大幅に下回る水準での生産続く！

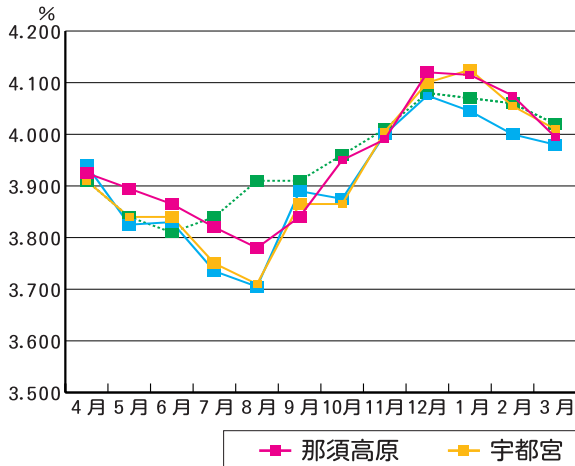
十二月までは前年実績をやや上回る生産となっておりましたが、一月以降減少幅が拡大し三月は前年比九十八・八%と前年を大きく下回りました。

支所別にみると、三月は那須高原支所においては九十七・五%と前年を大きく下回りましたが、宇都宮支所においては一〇〇・三%と堅調な生産を示し、県南支所においても一〇一・四%と前年を上回る伸びを示しており、那須高原支所管内における減少幅が大きく今後の生産動向が懸念されるところです。

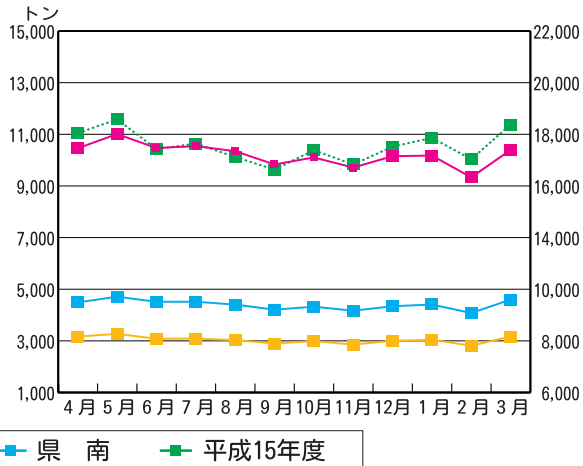
全国の生乳生産動向については、三月は北海道が一〇〇・三%、都府県においては九十八・五%、全国で九十九・三%と北海道が回復傾向となったことから減少傾向に歯止めがかかりました。累計では九十八・六%となりました。  
関東においては九八・二%と相変

わらず減少傾向が続いております。生乳需要の動向においては、飲用牛乳向けは相変わらず低迷（四・七

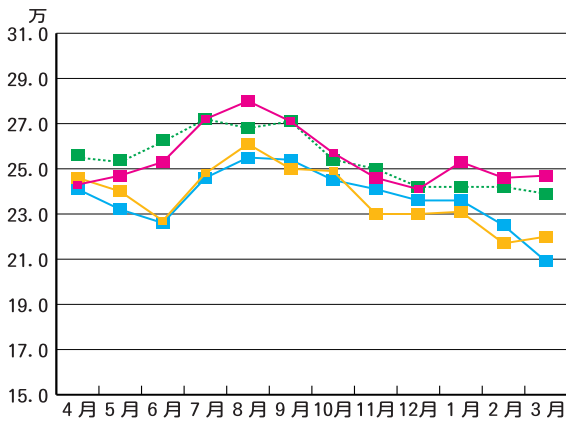
◆ 脂肪率の推移



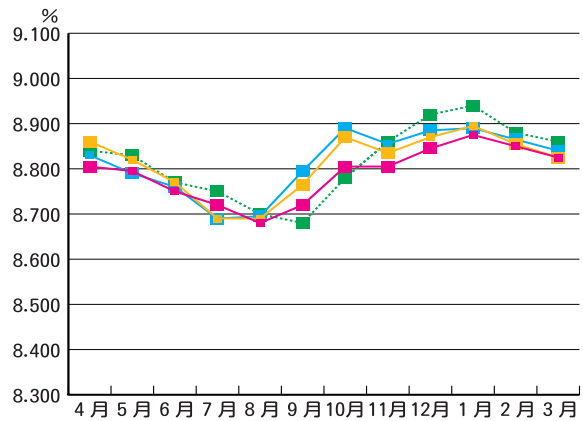
◆ 乳量の推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



%減)しているものの、醗酵乳向けについては四・二%増と前月に引き続き回復傾向を示しておりますが、

飲用需要の回復傾向には到っており、今後の需要拡大策に期待される

特定乳製品向けについては、生乳生産量が前年を下回ったものの飲用向けが大きく下回ったことにより四%増と前年を上回っております。

組合における乳質成績は、脂肪率が前年並みの成績(四・〇%)、無脂固形分率は前月をやや下回った八・八三%(〇・〇三%減)となりました。細胞数については前年を〇・五五下回る(二三・三万)好成绩となりました。

三月迄の乳量及び乳質成績は上記のとおりです。

## 乳牛飼養動態調査より

三月一日現在の乳牛飼養動態調査がまとまりましたので、お知らせします。

出荷戸数は六九六戸でした。期中の酪農中止者が二〇戸でしたが、新規加入(移動者含む)が二戸あり、出荷戸数の減少は十八戸(二・五%)でした。昨年十一月一日からの家畜排泄物法施行による酪農中止が心配されましたが、高齢や病気等が酪農



中止の主たる理由となっております。  
 飼養頭数は、三八九五頭と前年より二九五頭（〇・七％）減少しました。一戸当りの飼養頭数は五六頭（一・〇頭増）でした。

内訳を見ますと、経産牛が二六四三〇頭であり一四九頭（〇・六％）減少しました。未經産牛（初妊牛・育成牛・外部預託牛）は二五二四頭であり一四六頭（〇・一％）減少しました。飼養頭数に対する未經産牛の割合は、三三・二％（〇・一％減）となりました。

飼養頭数の減少理由として、出荷戸数の減少（二〇戸・飼養頭数三六二頭）が要因として挙げられます。新規加入者（二戸）による一三〇頭増がありました。全体では減少基調です。

分娩予定頭数（三月～八月）については、月平均一九八二頭の分娩予定があり、累計では前年を一一六頭上回っております。しかしながら、四・五月の分娩頭数が前年を下回っており、六月以降に上回る状況です。

飼養頭数の減少により生乳生産への影響が懸念されますが、安定した生乳生産に向けて、計画的な導入や県内外放牧場を活用した、後継牛の

## 乳牛飼養動態調査表

平成17年3月1日現在

支所別	調査年月	出荷者数	飼 養 頭 数							1戸平均飼養頭数	月 別 分 娩 頭 数						
			成 牛				育成牛未種付牛	外部預託牛	合計		3月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
			搾乳	乾乳	初妊	小計											
那須高原支	H17.03	414	13,582	1,906	2,097	17,585	4,745	986	23,316	56.3	1,133	1,037	1,087	1,296	1,298	1,323	7,174
	H16.03	423	13,611	1,973	2,171	17,755	4,800	1,032	23,587	55.8	1,080	1,237	1,153	1,117	1,313	1,248	7,148
	増減	-9	-29	-67	-74	-170	-55	-46	-271	0.6	53	-200	-66	179	-15	75	26
宇都宮支	H17.03	131	3,891	526	719	5,136	1,525	287	6,948	53.0	323	308	271	322	355	386	1,965
	H16.03	134	3,846	584	696	5,126	1,489	314	6,929	51.7	362	302	291	343	354	342	1,994
	増減	-3	45	-58	23	10	36	-27	19	1.3	-39	6	-20	-21	1	44	-29
栃木県南支	H17.03	151	5,821	704	709	7,234	1,218	238	8,690	57.5	578	413	377	411	489	485	2,753
	H16.03	157	5,814	751	709	7,274	1,279	180	8,733	55.6	513	494	385	357	476	409	2,634
	増減	-6	7	-47	0	-40	-61	58	-43	1.9	65	-81	-8	54	13	76	119
合計	H17.03	696	23,294	3,136	3,525	29,955	7,488	1,511	38,954	56.0	2,034	1,758	1,735	2,029	2,142	2,194	11,892
	H16.03	714	23,271	3,308	3,576	30,155	7,568	1,526	39,249	55.0	1,955	2,033	1,829	1,817	2,143	1,999	11,776
	増減	-18	23	-172	-51	-200	-80	-15	-295	1.0	79	-275	-94	212	-1	195	116

確保に努めて下さい。  
 また、分娩予定頭数が六月以降に集中している為、分娩時の事故や受胎率の低下が心配されます。良質粗

飼料の確保や、カウコンフォートを含めた分娩前後の飼養管理に重点を置き、周産期病等の疾病予防や事故防止対策の取組みをお願いします。

## 4月ホクレン初妊牛市場成績

(単位: 頭, 千円(税込))

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~350	351~400	401~450	451~500	501~550	551以上
十勝	4月7日	409	534	2	8	8	66	173	152
釧路	4月13日	247	554	1	2	6	19	67	152
根室	4月14日	503	543	5	5	15	64	170	244
豊富	4月15日	273	524		2	14	61	131	65
北見	4月20日	427	520	1	7	28	94	177	120
十勝	4月21日	464	528	2	10	33	82	193	144
合計		2,323	535	11	34	104	386	911	877
前月		2,339	556	15	11	68	254	678	1,313
前年同月		1,980	523	27	53	128	401	618	753

## 家畜市場成績

平成17年4月

(単位: 円(税込))

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均	
西那須野	十五日	ホルス雄	135	-	69,300	5,250	47,133
		F1雄	80	-	202,650	88,200	156,686
		F1雌	63	-	142,800	22,050	93,917
館林	二十七日	ホルス雄	5	72	74,000	52,000	61,200
		F1雄	11	72	192,000	56,000	159,818
		F1雌	10	71	155,000	76,000	124,500





# 理事会だより

## 四月度理事会

### 報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 四月分生産者支払乳価について
- (三) 平成十七年度生乳計画生産自主申告について
- (四) 第四回酪農まつり結果報告について

- (五) 乳牛飼養動態調査報告について協議事項
- (一) 三月度及び十六年度事業実績について
- (二) 平成十六年度乳質共励会表彰について
- (三) 那須高原CS竣工祝賀会について

## お知らせ

### 職員人事

- 定年退職** (三月三十一日付)
- |           |       |
|-----------|-------|
| 市乳販売部部長   | 谷村 淳  |
| 県南支所経済課課長 | 大島 和夫 |
| 西那須野CS所長  | 村上 隆一 |
| ふれあい牧場係長  | 黒崎 勝  |
| 那須高原CS    | 薄井 一平 |
- 退職**
- (三月三十一日付)
- |         |       |
|---------|-------|
| 栃木事業所所長 | 鈴木 実  |
| 県南支所経済課 | 吉田 良一 |
- (四月三十日付)

## HALF・タイム



桜花からツツジ・ふじ・ボタン等々が一斉に咲き誇り、新緑がまばゆい季節となる。

今年のゴールデンウィークは、好天と連続休日に恵まれ、行楽地は終日くるま・車の列。県内で一際にぎわったのが「益子陶器市」と「ツインリンクもてぎ」のように連休里帰りした子供・孫達。丁度田植え最盛期とあって素足で手伝ってくれる。田植え、自然とのふれあい体験、旬の味覚は、まさに食育の源であり、「瑞穂の国」古来の田植えを伝承したい。

「自然の叡智」をテーマとした、愛知万博も連日にぎわっている。地球は今、温暖化に見られるよう

大きな環境問題を抱えているが、今回の万博では、自然の持つすばらしい仕組みと命を学び、多様な文化・文明の共存する新しい社会構築を目指そうと世界一二〇カ国が参加している。

とりわけ、話題を呼んでいるのが「冷凍マンモス」。一万八千年ともいわれるシベリアから発掘された雄の頭部や左前脚が展示されている。入場待ち二時間は普通という人気ぶりのようだ。

わが日本館の「地球の部屋」では、三百六十度スクリーンにより、海中や宇宙を實際浮遊する感覚が味わえるという。昭和四十五年の大阪万博に続く二十一世紀最初の大イベント、是非見学したいひとつ。

今年もプロ野球・ゴルフ・Jリーグが一斉に始動した。

新規参入・経営譲渡等で話題を呼んだプロ野球、主力選手十七名が米国修行中のなか、「改革元年」と銘打ち、セ・リーグ交流戦を導入するなど人気回復に躍起だが、ファン離れは依然続く。

対象的なのが人気上昇中の女子ゴルフ界、若手新人の活躍・台頭著しく、はつらつとしたプレーを魅せてくれる。更にギャラリーを増幅する勢いがあり、今後のたたかいがおもしろい。

「とちぎファームフェスタ2005」開催まであと五ヶ月とせまる。単なる共進会のみならず、広く県民はじめ多くの方々が参加できるよう事務局は連日準備に追われていきます。本大会が成功されますよう皆様からもPRとご協力をお願い申し上げます。(Y)

宇都宮支所購買課課長 北山 正一



診療課課長補佐 吉成 正晴



宇都宮支所指導課 町田みずき



県南支所指導課 前原 駿佑

## 酪農とちぎ職員募集

採用予定者

大卒以上 若干名

応募資格

平成一五年三月以降に卒業した方及び十八年三月卒業見込の者  
筆記試験日時

平成十七年七月下旬

願書締切日

平成十七年六月三十日

願書提出先

〒三三二一〇九〇五

宇都宮市平出工業団地5番8  
酪農とちぎ農業協同組合

総務部総務課

〇二八―六六〇―二二二一

出願手続・その他

詳しくは総務課へお問い合わせください

